



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6806 URL <http://www.hirose.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 和徳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 福本 広志 (TEL) 03(3491)5300
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	61,667	31.8	17,452	59.2	18,268	59.7	11,608	70.6
25年3月期第2四半期	46,770	△4.9	10,959	△5.6	11,436	△7.0	6,803	△7.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 14,913百万円(163.7%) 25年3月期第2四半期 5,654百万円(34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第2四半期	円 銭 336.71	円 銭 336.66
25年3月期第2四半期	196.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第2四半期	百万円 293,420	百万円 262,852	% 89.3
25年3月期	277,881	252,066	90.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 262,127百万円 25年3月期 251,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 140.00
26年3月期	—	90.00			
26年3月期(予想)			—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	24.0	30,000	43.0	31,000	38.5	19,500	44.4	566.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	40,020,736株	25年3月期	40,020,736株
26年3月期2Q	5,586,301株	25年3月期	5,467,799株
26年3月期2Q	34,475,735株	25年3月期2Q	34,604,163株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成25年11月1日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末に発足した新政権による経済政策及び日銀による金融政策等を背景に円安・株価高が進行し、輸出企業を中心に企業収益の改善は見られるようになりました。一方、個人消費におきましては円安による物価上昇が食品や日用品等に現れ始め、消費税増税や雇用状況等の不安も払拭されず本格的な景気回復には、まだ時間を要するものと思われま

す。このような状況下当社グループは、平成24年11月に出资比例を約97%まで上げた連結子会社であるヒロセコリア株式会社との営業、開発、生産面での連携を一段と深めつつ当社グループのグローバル事業拡大を積極的に進めると共に、製品開発部門、生産技術部門、営業・マーケティング部門等を集結させた横浜市都筑区の新社屋「横浜センター」を中心に、高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売体制の強化を引き続き推進して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は616億6千7百万円（前年同期比31.8%の増）、営業利益は174億5千2百万円（同59.2%の増）、経常利益は182億6千8百万円（同59.7%の増）、四半期純利益は116億8百万円（同70.6%の増）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

[多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン・携帯電話、タブレットPC・電子書籍、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第2四半期連結累計期間は、主に韓国及び中国のスマートフォン・携帯電話市場向けや自動車市場向けの受注・売上が堅調に推移するとともに産業用機器市場向けビジネスの持ち直しもあり、売上高は497億2千4百万円（前年同期比32.7%の増）、営業利益は143億7千4百万円（前年同期比58.3%の増）となりました。

[同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォン・携帯電話及び伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は91億1百万円（前年同期比34.1%の増）、営業利益は29億5千3百万円（前年同期比72.7%の増）となりました。

[その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は28億4千1百万円（前年同期比12.6%の増）、営業利益は1億2千4百万円（前年同期比26.5%の減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度に比べ155億3千8百万円増加して2,934億2千万円となりました。負債は未払法人税等の増加などにより、47億5千2百万円増加して305億6千8百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加などにより107億8千6百万円増加して2,628億5千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は89.3%となり、前連結会計年度末と比べ1.2%低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

韓国及び中国を中心とするスマートフォン・携帯電話市場向け及び自動車並びに産業機器市場向けの需要が堅調で、第2四半期累計期間の業績が好調に推移しており、通期の連結業績は、売上高、利益ともに平成25年5月8日公表の期初予想を上回る見込みです。そのため、通期の連結業績予想及び中間・期末の配当予想を修正いたしました。

具体的な内容につきましては、本日（平成25年10月31日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,697	121,695
受取手形及び売掛金	24,187	28,875
有価証券	27,767	26,967
商品及び製品	3,960	4,593
仕掛品	2,719	2,685
原材料及び貯蔵品	1,233	1,490
未収入金	2,458	2,747
その他	2,865	3,583
貸倒引当金	△71	△105
流動資産合計	180,817	192,532
固定資産		
有形固定資産	31,022	32,980
無形固定資産	1,191	1,303
投資その他の資産		
投資有価証券	60,220	62,053
前払年金費用	304	297
その他	4,411	4,338
貸倒引当金	△86	△85
投資その他の資産合計	64,850	66,604
固定資産合計	97,063	100,888
資産合計	277,881	293,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,795	12,453
未払法人税等	3,890	6,057
賞与引当金	1,357	1,957
役員賞与引当金	120	131
その他	5,566	4,834
流動負債合計	21,730	25,434
固定負債		
退職給付引当金	271	386
その他	3,813	4,747
固定負債合計	4,084	5,133
負債合計	25,815	30,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,365	14,362
利益剰余金	278,804	287,993
自己株式	△55,263	△56,926
株主資本合計	247,310	254,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,384	4,314
為替換算調整勘定	767	2,979
その他の包括利益累計額合計	4,152	7,293
新株予約権	74	58
少数株主持分	529	666
純資産合計	252,066	262,852
負債純資産合計	277,881	293,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	46,770	61,667
売上原価	26,448	33,305
売上総利益	20,322	28,361
販売費及び一般管理費	9,362	10,909
営業利益	10,959	17,452
営業外収益		
受取利息	358	364
受取配当金	64	74
その他	280	442
営業外収益合計	704	881
営業外費用		
為替差損	164	18
その他	63	46
営業外費用合計	227	65
経常利益	11,436	18,268
特別利益		
補助金収入	138	—
特別利益合計	138	—
特別損失		
固定資産除却損	118	88
投資有価証券評価損	81	—
特別損失合計	200	88
税金等調整前四半期純利益	11,374	18,180
法人税等	4,104	6,446
少数株主損益調整前四半期純利益	7,270	11,734
少数株主利益	467	125
四半期純利益	6,803	11,608

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,270	11,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197	929
為替換算調整勘定	△1,813	2,249
その他の包括利益合計	△1,615	3,179
四半期包括利益	5,654	14,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,296	14,749
少数株主に係る四半期包括利益	358	164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,461	6,785	44,247	2,523	46,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	37,461	6,785	44,247	2,523	46,770
セグメント利益(営業利益)	9,079	1,710	10,789	169	10,959

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	17,763	1,778	24,371	2,340	517	29,007	46,770
II 連結売上高 に占める割合(%)	38.0	3.8	52.1	5.0	1.1	62.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,724	9,101	58,825	2,841	61,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	49,724	9,101	58,825	2,841	61,667
セグメント利益(営業利益)	14,374	2,953	17,327	124	17,452

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	16,958	3,190	37,641	3,251	624	44,708	61,667
II 連結売上高 に占める割合(%)	27.5	5.2	61.0	5.3	1.0	72.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。